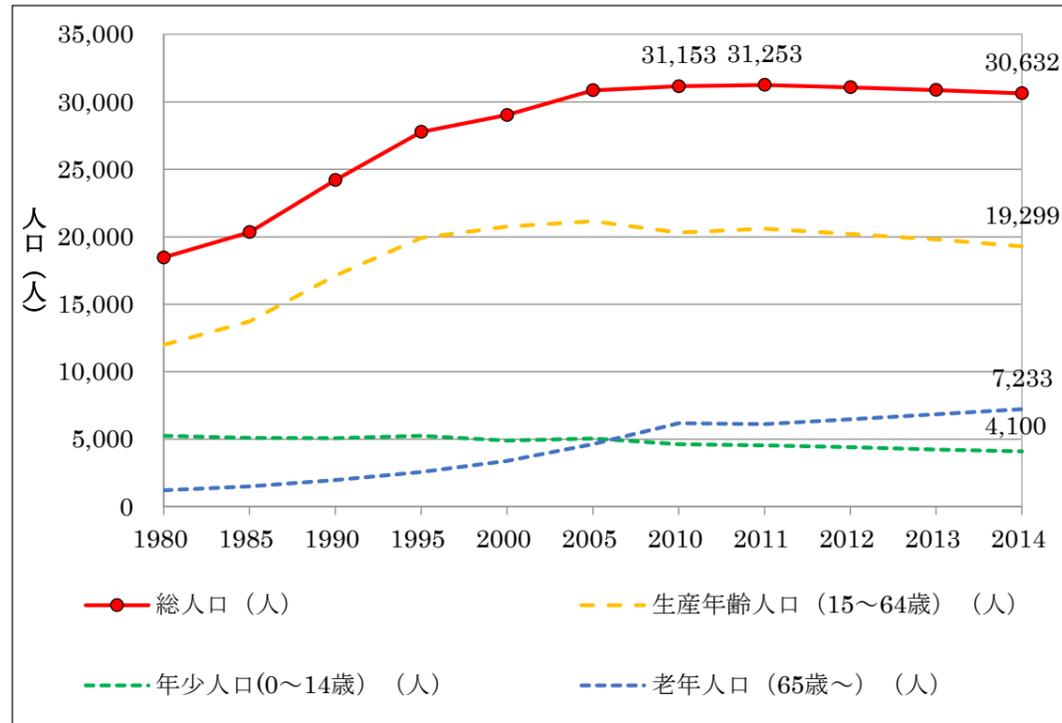


松伏町総合戦略施策の方向性の検討

松伏町の人口ビジョン・総合戦略策定にあたり、松伏町の将来人口を推計し問題点を明らかにした上で、今後、町の持続的な運営に向けて、今後5年間に行うべき施策の方向性を定める。

■2011年をピークに人口減少が始まっている松伏町

松伏町の人口は、平成27年7月1日現在30,457人であり、2011年の31,253人（住民基本台帳）をピークに人口減少が始まっている。今後、転出傾向が2040年に向かって収束すると仮定した社会保障人口問題研究所の推計によると、松伏町の平成35年で約28,000人程度、**2060年の人口は、20,213人と現在の65%程度にまで減少する**とされている。

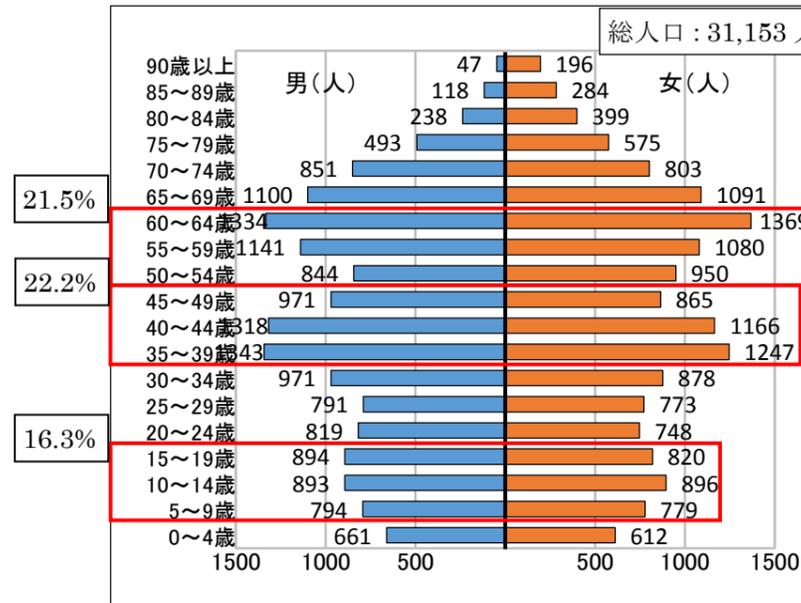


■松伏町の人口構造、町の財政・経済を維持するために

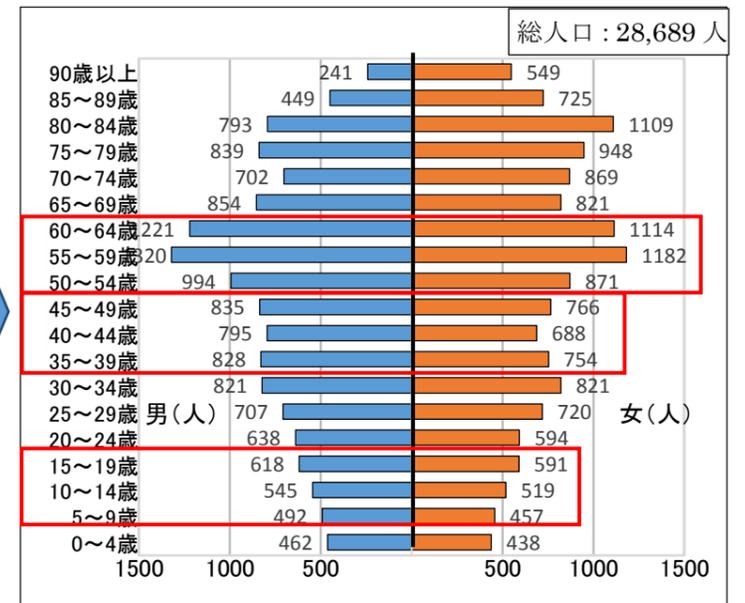
松伏町の2010年の人口構造（人口ピラミッド）では、子育て世代（35~49歳）が全体の22.2%と最大で、その世代の子どもたちにあたる5~19歳の人口も全体の16.3%に及ぶ。この**生産年齢人口を中心とした構造が町の財政・経済を支えるために大きな役割を果たしている**。

しかし、社会保障人口問題研究所による推計において2030年の人口構造を見ると、50~64歳の子育て後の世代が最も多くなっており、年少人口の減少も顕著である。町の税収・経済を維持するためには、**現在の人口構造（ピラミッドの形状）を維持することが求められる**。

松伏町の人口構造（2010年国勢調査）



松伏町の人口構造（2030年社人研推計）



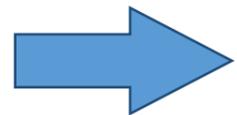
■施策推進の中心ターゲット

上記の結果から、将来に渡り松伏町の人口構造を維持するために、子育て世代（35~49歳等）を呼び込むことが有効であると考えられる。

一方、今回の総合戦略策定に際して行ったアンケート調査において、**公共交通の不便さが最も多く**、総合振興計画策定以前より最も指摘されている町の課題である。バス路線の整備などは進んでいる一方、**鉄道駅が無いことから、近隣他市町と比較して、交通空白地帯が48%と比較的大きいまま**であり、鉄道駅の施設などには時間が費やされることが予想される。そこで、5年間の戦略的ターゲットとして、**鉄道駅の無さをあまり苦にしない世帯の転入を促進し、転出抑制を図る**ことが即効性のある施策で、同時に、その世代を受け入れるための器の確保が求められる。

年齢別構成（人口ピラミッド）の維持・向上を図る観点から定着・誘致を図ることが望ましい階層

自家用車保有割合が高く、やや脆弱な本町の公共交通網への依存性が相対的に少ない階層



総合戦略に基づいた施策推進にあたっての中心ターゲット

■子育て世代・ファミリー世帯

- ・子育て、教育環境の充実により、家族単位の転入が見込めれば、年少人口の増加も見込め、人口減少の抑制に効果的である。
- ・ファミリー世帯の自家用車所持率は高く、公共交通網の不便さを感じつつも、自家用車での通勤・通学が可能であり、他の世代に比べて、交通網の課題を苦としない世代であることが推測される。

■ 町民意識調査の結果概要

(ア) 調査概要

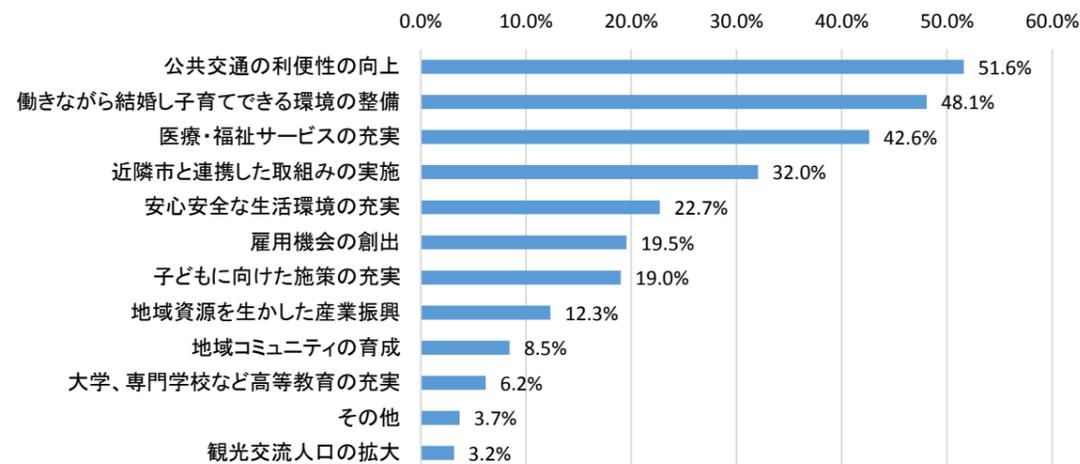
調査地域	松伏町全域
調査対象	松伏町の町民 30,457 人の中から、15 歳以上の男女個人
調査方法	郵送配布、郵送回収
対象者数	1,500 人
抽出方法	住民基本台帳に基づく無作為抽出
有効回収数	610 人 ※中間報告では 571 人分を集計。
有効回収率	40.7%
実施期間	平成 27 年 6 月

(イ) 主な調査結果概要

◆人口減少について

○松伏町で大事だと思われる人口減少対策として、「公共交通の利便性の向上」、「働きながら結婚し子育てできる環境の整備」が求められている。(町民意識調査：問9)

＜松伏町で大事だと思われる人口減少対策＞

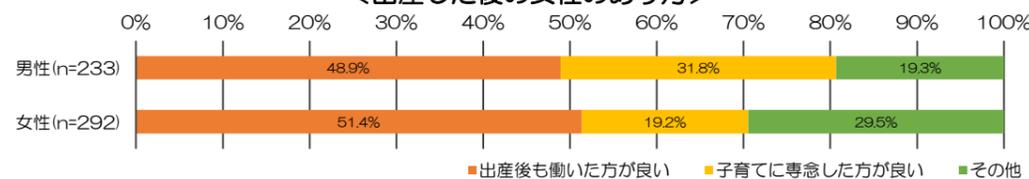


⇒課題：魅力ある働く場の環境整備／公共交通など生活環境の不便さの解消

◆出産・子育てについて

○出産した後の女性のあり方について、「出産後も働いた方がよい」と回答している割合が半数を占めており、男女別でみると、「出産後も働いた方がよい」と回答している割合は、男性（48.9%）より女性（51.4%）の方が 1.5% 高くなっている。(町民意識調査：問 18)

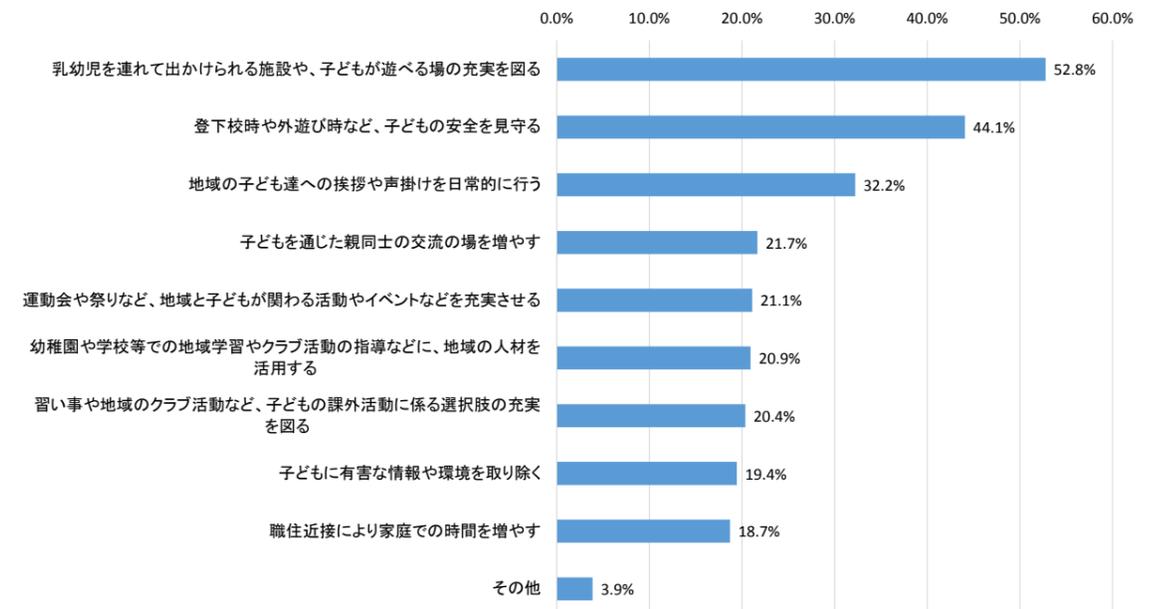
＜出産した後の女性のあり方＞



⇒課題：魅力ある働く場の環境整備

○子育てしやすい地域づくりに向けた取り組みとして、「乳幼児を連れて出かけられる施設や、子どもが遊べる場の充実を図る」、「登下校時や外遊び時など、子どもの安全を見守る」が求められている。(町民意識調査：問 19)

＜子育てしやすい地域づくりへの取り組み＞

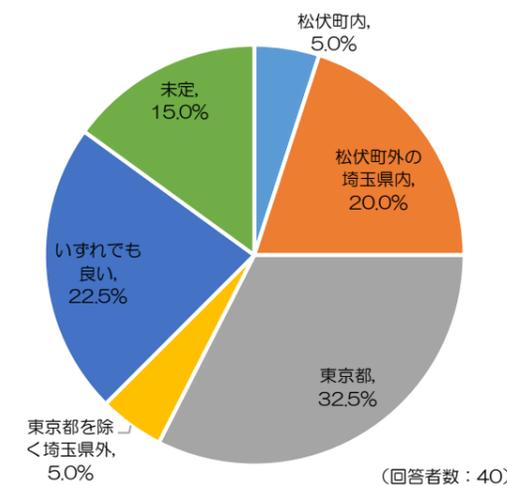


⇒課題：暮らしの豊かさのさらなる充実

◆就職について (学生対象調査)

○就職先の希望として、「東京都」が最も多く、次いで「いずれでも良い」となっており、「松伏町内」を希望している人は 5.0% と最も少ない。そのうち、女性で「松伏町内」を希望している人はいない。(町民意識調査：問 22)

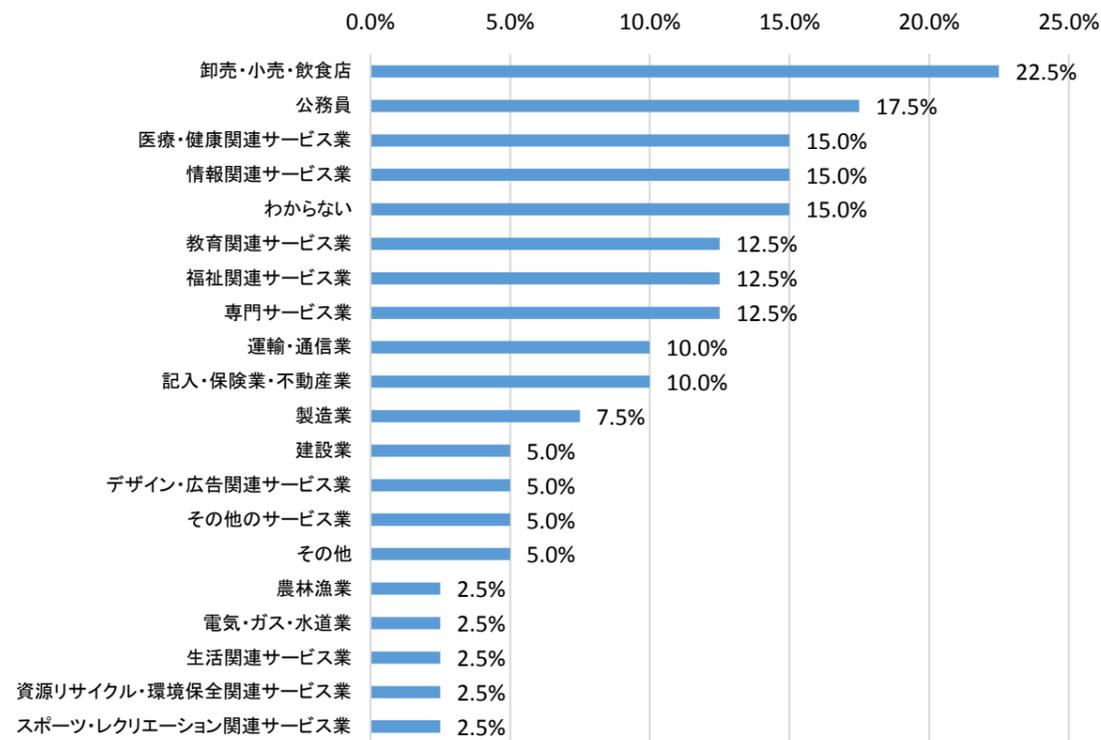
＜希望就職先 (学生対象調査)＞



⇒課題：魅力ある働く場の環境整備

○将来就きたい仕事として、「卸売・小売・飲食店」、「公務員」、「医療・健康関連サービス業」の順に多くなっている。（町民意識調査：問23）

＜将来就きたい仕事（学生対象調査）＞



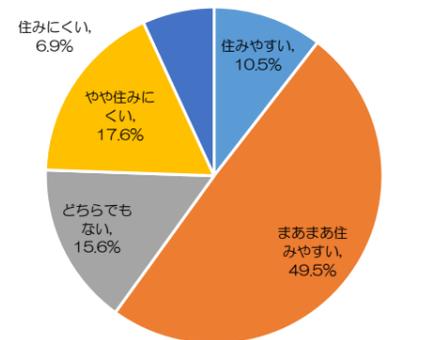
⇒課題：魅力ある働く場の環境整備

◆住みよさと定住意向について

○松伏町の住みよさ・くらしやすさについて、全体の60.0%が住みやすい（「住みやすい」及び「まあまあ住みやすい」の合算）としている。（町民意識調査：問25）

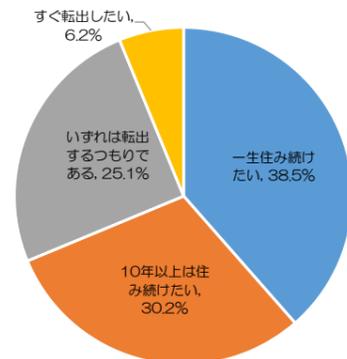
○松伏町の定住意向として、10代、20代に関しては「いずれは転出するつもりである」と回答している人がそれぞれ64.3%、54.1%と半数以上を占めている。一方で、子育て世代である30代、40代は「10年以上は住み続けたい」と回答している人がそれぞれ43.1%、44.2%となっており、50代以上になると「一生住み続けたい」と回答している人が多い。（町民意識調査：問27）

＜住みよさ・くらしやすさ＞



（回答者数：552）

＜定住意向＞

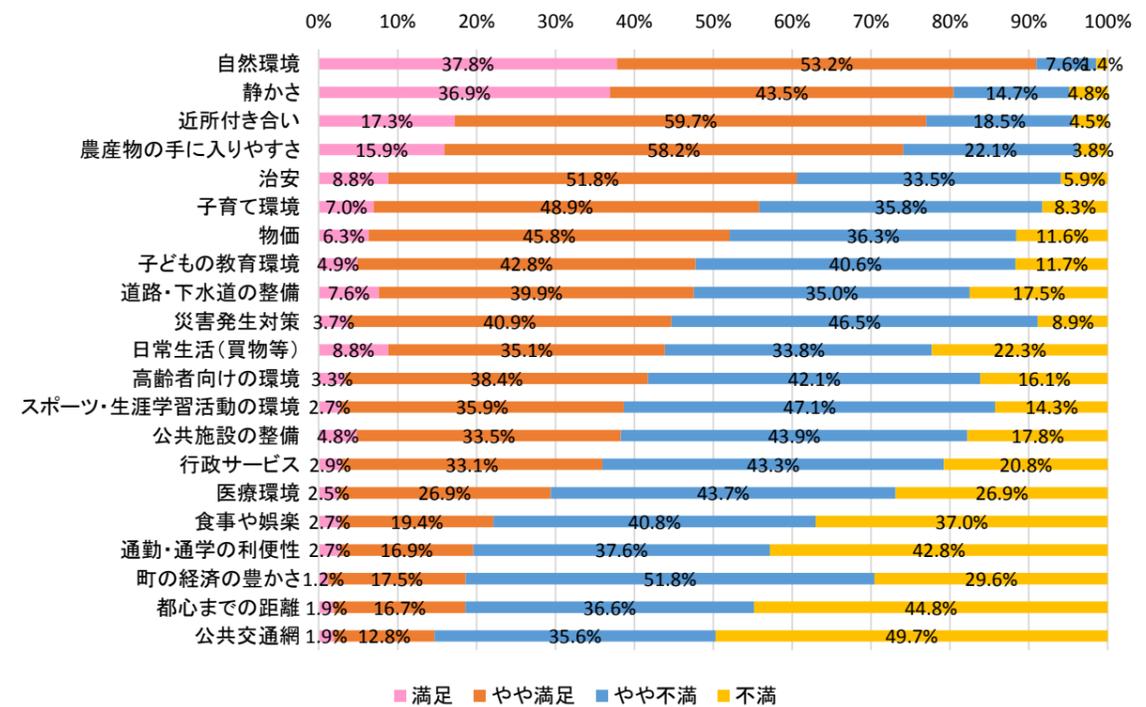


（回答者数：550）

⇒課題：暮らしの豊かさのさらなる充実／松伏町の住みやすさのイメージアップに向けたPR

○住みよさ・くらしやすさの満足度・不満度として、「自然環境」、「静かさ」、「近所付き合い」の満足度が高く、一方で「公共交通網」、「都心までの距離」、「町の経済の豊かさ」は不満度が高い。（町民意識調査：問26）

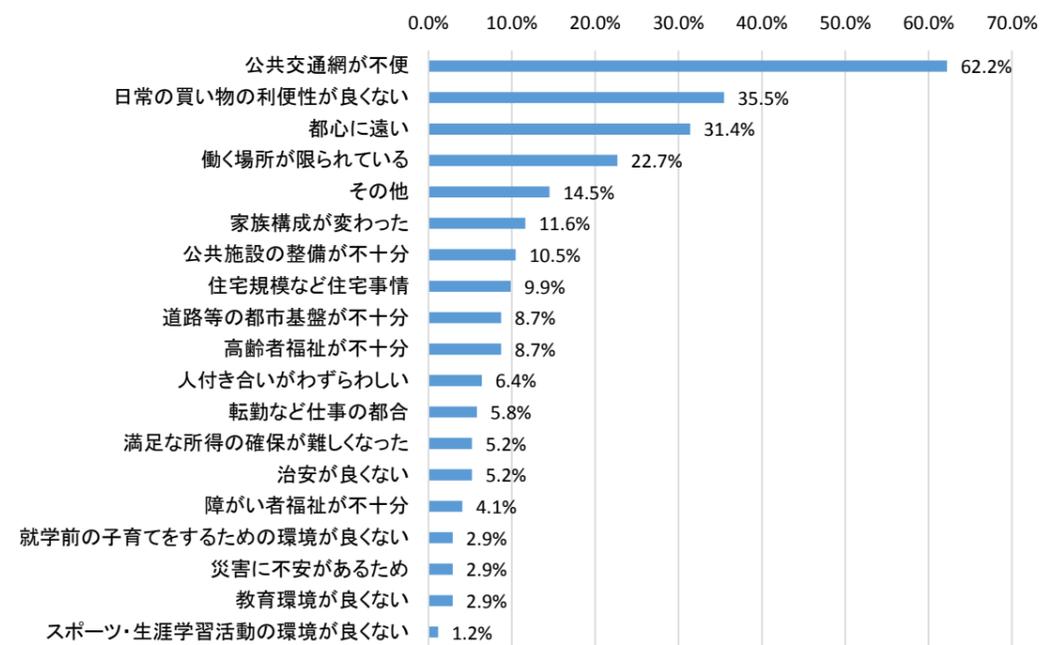
＜住みよさ・くらしやすさの満足度と不満度＞



⇒課題：公共交通など生活環境の不便さの解消

○転出したい理由として、「公共交通網が不便」が最も多く、次いで「日常の買い物の利便性が良くない」、「都心に遠い」、「働く場所が限られている」が多く挙げられている。（町民意識調査：問28）

＜転出したい理由＞

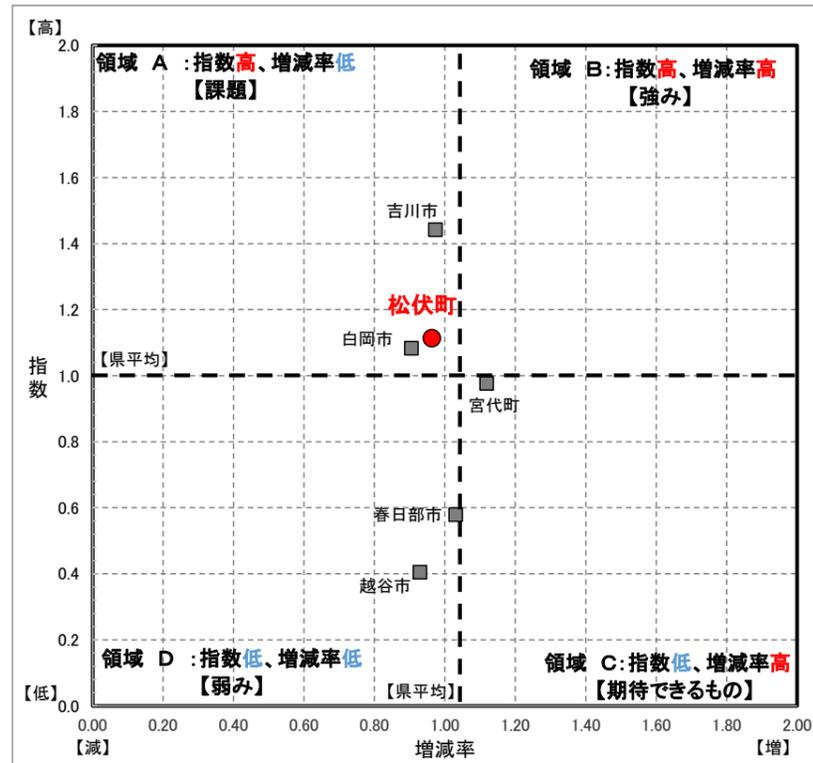


⇒課題：魅力ある働く場の環境整備／公共交通など生活環境の不便さの解消

■ 松伏町の産業に関するデータ

【農業】

○生産額の増減率は県平均に比べやや下回っているが、人口1人当たりの**農業生産額は県平均を上回っている**。



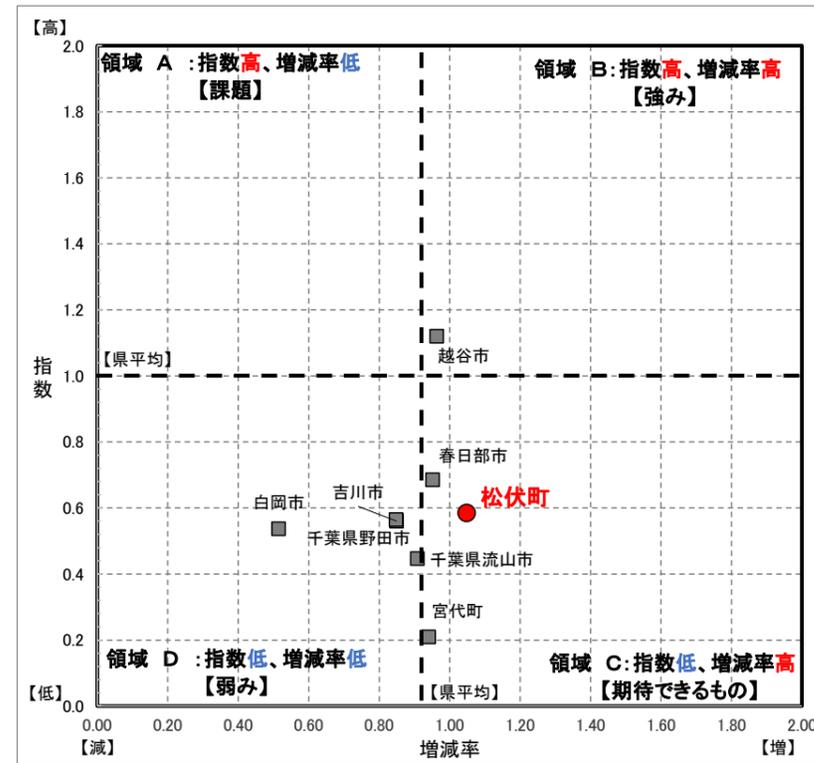
	農業生産額（平成24年）		
	人口1人当たり 農業生産額 (万円/人)	指数 (県平均を 1.0)	増減率 (H17-H24)
松伏町	1.87	1.1	0.96
吉川市	2.42	1.4	0.97
越谷市	0.68	0.4	0.93
春日部市	0.97	0.6	1.03
宮代町	1.64	1.0	1.12
白岡市	1.82	1.1	0.90
埼玉県平均	1.68	1.0	1.04

出典：埼玉の市町村村民経済計算

(注) 農業生産額については、千葉県において平成18年以降のデータが未公表となっているため、比較対象から除外する。

【商業】

○生産額の増減率は県平均を上回っているが、人口1人当たりの商品販売額は県平均を下回っている。

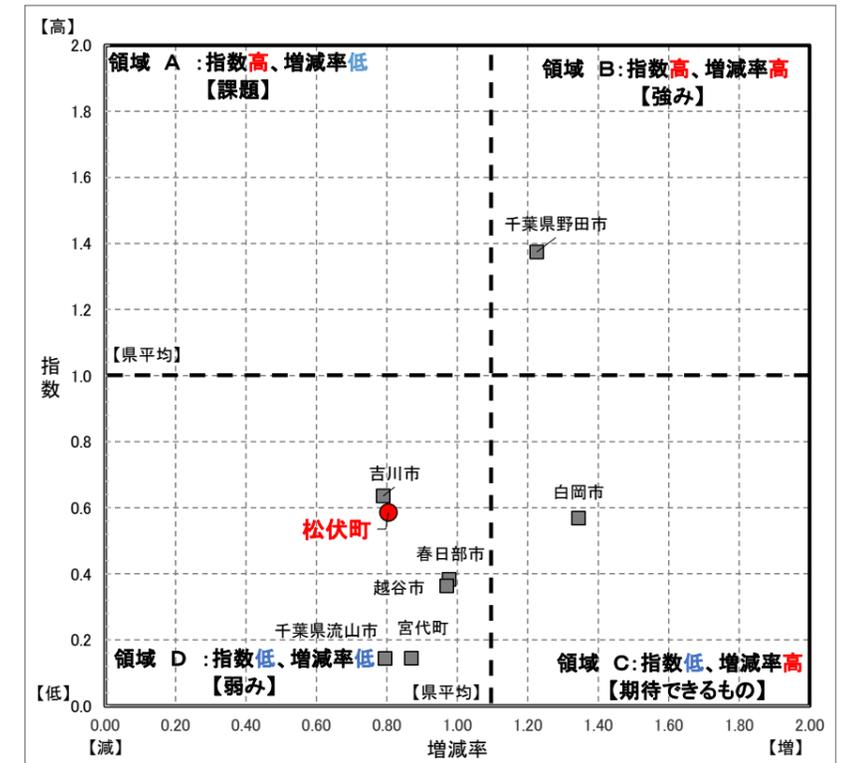


	商品販売額（平成24年）		
	人口1人当たり 商品販売額 (万円/人)	指数 (県平均を 1.0)	増減率 (H19-H24)
松伏町	114.89	0.6	1.05
吉川市	110.12	0.6	0.85
越谷市	220.21	1.1	0.96
春日部市	134.79	0.7	0.95
宮代町	41.22	0.2	0.94
白岡市	105.56	0.5	0.51
千葉県野田市	111.03	0.6	0.85
千葉県流山市	87.79	0.4	0.91
埼玉県平均	196.56	1.0	0.93

出典：経済センサス

【工業】

○生産額の増減率は県平均に比べやや下回っているうえ、人口1人当たりの製造業出荷額は県平均を下回っている。



	製造品出荷額（平成24年）		
	人口1人当たり 製造品出荷額 (万円/人)	指数 (県平均を 1.0)	増減率 (H17-H24)
松伏町	99.3	0.6	0.80
吉川市	107.9	0.6	0.79
越谷市	65.0	0.4	0.98
春日部市	61.7	0.4	0.97
宮代町	24.5	0.1	0.87
白岡市	96.4	0.6	1.34
千葉県野田市	233.3	1.4	1.23
千葉県流山市	24.3	0.1	0.79
埼玉県平均	169.8	1.0	0.88

出典：工業統計調査

■ 松伏町で取り組むべき重点課題と施策展開（案）

町民意識調査結果と町の産業構造のデータを基に、松伏町の強みと弱みを抽出し、町が取り組むべき重点課題について検討を行った。

＜松伏町の強みを伸ばす＞

- 美しい自然環境（田園・水辺等）
- 子育て環境（閑静な住環境・治安・物価・教育環境等）
- 周辺都市と比較して強い農業

＜松伏町の弱みを克服する＞

- 就業の場の不足
- 子育てと両立できる就労環境の不足
- 鉄道駅の不在

課題克服に向けた取り組み方針

既存ストックの活用

- 閑静で豊かな自然環境と「農」を活用した取り組み
- 大学と連携した生涯教育やコミュニティ活性化施策の推進

新たな市街地の形成

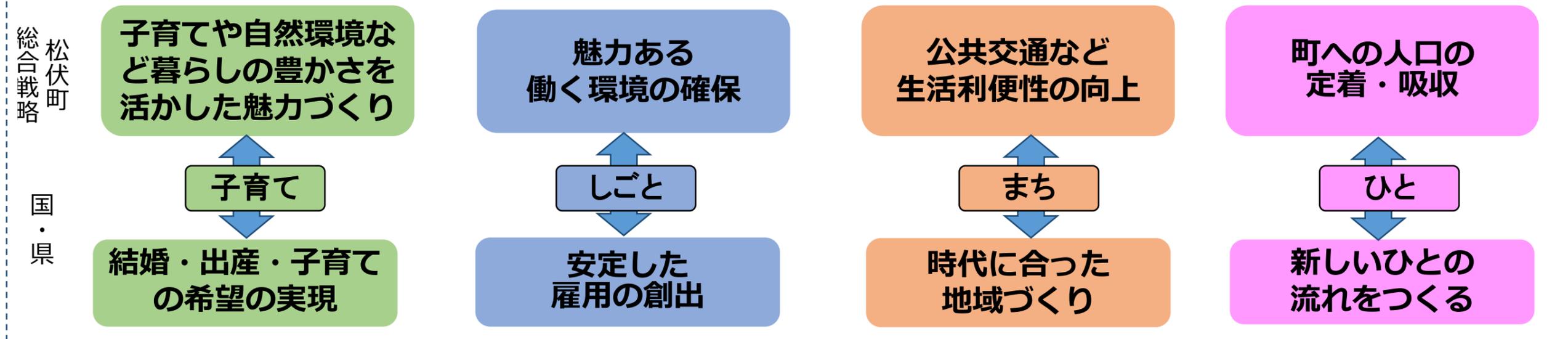
- 東埼玉道路および浦和野田線の結節点における町の新たな核の形成
- 職住近接のまちづくりと子育てにやさしい働く場づくり
- コミュニティの要となる場づくり

プロモーションの強化

- 町の取り組みを内外に発信する必要性



国・県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の視点に対応した4つのテーマ



■ 松伏町総合戦略の施策および事業展開（案）

国・県の「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を踏まえたうえで、松伏町の事情に即した施策および事業展開について検討を行った。

子育て

子育てや自然環境など暮らしの豊かさを活かした魅力づくり

【参考：アンケート調査結果】

- ・松伏町の住みよさについて、**半数以上が住みやすい**としており、住みよさの現状維持はもちろん、さらなる充実を図る必要があると考えられる。（町民意識調査：問25）
- ・住みよさ・くらしやすさの視点から、「**自然環境**」の満足度が高くなっており、松伏町の自然を保全しながら、満足度の維持を図る必要があると考えられる。（町民意識調査：問26）

<充実した人材育成・教育プログラム>

- 大学や商工会など多方面との連携を図り教育に触れる機会を増やす。
- 既存の教育環境をより充実させる。
事業例：ICT推進事業、学習支援充実事業

<職住近接を奨励する子育て応援プログラム>

- 子育て世帯の転入を促進する。
事業例：子育て世帯リフォーム・リノベーション促進事業

しごと

魅力ある働く環境の確保

【参考：アンケート調査結果】

- ・松伏町で大事だと思われる人口減少対策のひとつとして、「**働きながら結婚し子育てできる環境の整備**」が求められている。（町民意識調査：問9）
- ・転出したい理由の一つとして「**働く場所が限られている**」が多く挙げられていることから、将来就きたい仕事の結果も踏まえ、「**企業誘致などを進め、町内で働く場をつくる必要がある**」と考えられる。（町民意識調査：問22、問28）

<子育てにやさしい、働く場づくり>

- 育児奨励企業や子育て関連製造企業等に対し、優先的な受け入れを行うなど、子育てに配慮した、働く場づくりを行う。
事業例：企業誘致奨励事業

<後継者育成・高齢者生きがいプログラム>

- 町内企業や農家との連携による、町内で働く「きっかけ」の創出
事業例：町内企業インターンシップ奨励事業

まち

公共交通など生活利便性の向上

【参考：アンケート調査結果】

- ・住みよさ・くらしやすさの視点から「**公共交通網**」の**不満度が高く**、さらに転出したい理由として「公共交通網が不便」としている割合が最も多いことから、2路線の開通に向け、交通利便性が良くなることをPRするとともに、定住基盤の確保が必要と考えられる。（町民意識調査：問26、問28）

<町の核づくり>

- 交通意識調査やICTの活用により松伏町の重要課題である公共交通の利便性を向上させ、町の核としての役割を担う新市街地を整備する。
事業例：ICTを利用した交通ネットワークづくり

<交流機能の強化>

- コミュニティの要となる交流機能の強化を行う。
事業例：道の駅整備検討事業

ひと

町への人口の定着・吸収

【参考：アンケート調査結果】

- ・自由回答にて、「安心安全をアピール」、「この町が住みやすい町だとアピールできたと思う」、「子育て環境には8割満足しています。これをもっと町外へアピールしてみたら」などの意見があるように、「**松伏町が持っている良さを積極的にアピールしていくことが必要である**」と考えられる。（町民意識調査：自由回答）

<プロモーション強化>

- 松伏町の地域資源や取組等を広く知ってもらうため、学生との協働等により、新たな視点からの町のPRを行う。
事業例：地域資源発見事業

<制度強化によるひとの呼び込み>

- 松伏町の現行の制度を見直し、町内外に広く魅力をアピールする。
事業例：勤労者住宅資金貸付事業の強化